

# 飛散防止効果のあるガラス用透明遮熱シート ZEROCOATシート

## きれいに貼れて剥がせる自己吸着シート



### 可視光線を約23%カット

可視光線透過率約67%。  
シートは透明な弱ブルー色で  
ガラスの採光性を維持しながら  
眩しさを軽減します。

### 紫外線を約99%カット

フローリング、カーペットなど  
床面、カーテン、家具などの  
色焼け、劣化を防ぎます。

### 近赤外線を約70%カット

肌を刺すようなジリジリ感と  
日射熱の侵入が減少するので  
窓際の温度上昇を抑えます。

### 賃貸物件でも安心

シートに粘着剤を使っていない  
ので、剥がしてもガラス面に  
接着剤が残りません。

※1 紫外線カット率、可視光線カット率は JISA5759 により測定した数値です。  
※2 近赤外線カット率は JISA5759 により日射透過率を測定し、波長域 780 ~ 2500nm の透過率値の単純平均値を 100 から引いた数値です。  
※3 飛散防止効果とは飛来物による飛散を軽減・防止する効果であり、JIS規格の飛散防止フィルムとは異なります。

## 飛来物によるガラスの飛散を防止

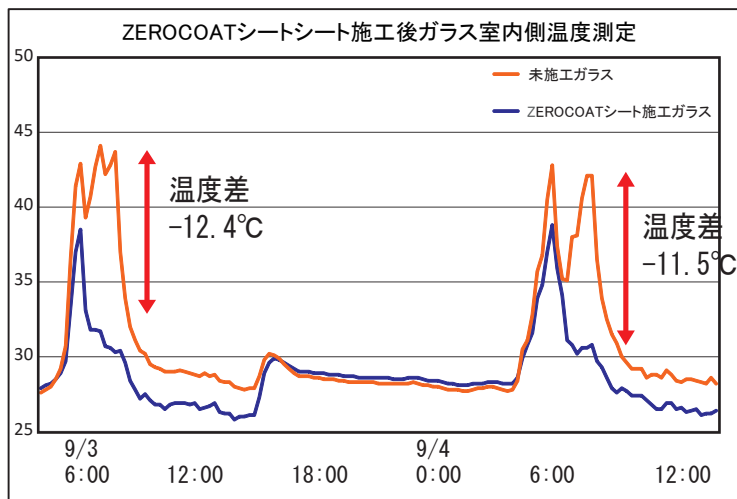
台風など飛来物が窓ガラスに当たり割れた場合に破片が室内に飛び散ると避難の妨げやけがの原因になります。

ZEROCOAT シートを貼ることで飛来物が当たってもガラスの破片が室内側へ飛び散るのを防止・軽減させる効果があります。



## 施工後のガラス室内側 温度測定結果の比較

測定場所  
神戸市デイサービスセンター  
温度測定期間  
2019年9月3日~4日



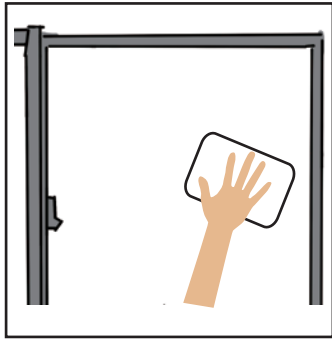
## ZEROCOAT シートの貼れるガラス、貼れないガラス

| 貼れる場所  | 貼れない場所   |
|--|--|
| 室内で使用して下さい<br>・透明板ガラス<br>・透明複層ガラス（2㎡未満）<br>・くもりガラス、すりガラス、<br>型板ガラスの平らな面<br>・自動車ガラス（道路交通法を<br>順守して下さい。） | 室外では使用しないでください<br>・網入りガラス、熱線吸収ガラス<br>など左記以外のガラス<br>・ヒビ割れたガラス<br>・アクリル、プラスチックなど、<br>ガラス以外 |

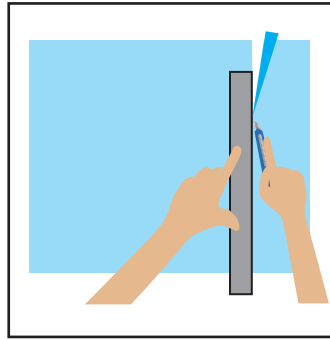
- ※ 高温多湿下では、経時変化が促進されることがあります。通常の居住環境以上に、高温多湿な場所で使用しないで下さい。
- ※ 外気温が10℃以下の場合、きれいに貼れない場合があります。
- ※ 本シートを貼るとシートが熱を吸収してガラス面が暖かくなります。
- ※ ガラスは太陽熱により破損する場合があります、この現象を熱割れ現象といいます。左記貼れる場所は熱割れ現象の起こる可能性が低いと判断されるガラスですが、熱割れ現象に関しては可能性の有無だけで絶対的な判断ができませんので、保障をすることは出来ません。

## ZEROCOAT シートの貼り方

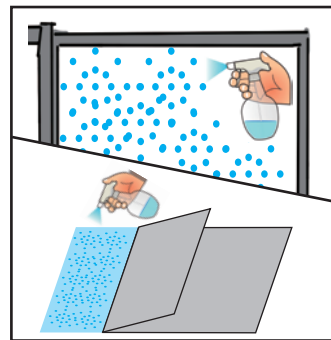
**準備するもの** タオル、定規、カッター、霧吹き、メジャー、スキージー（水を使用しますので濡れて困る場所はビニールシートなどで養生します。）



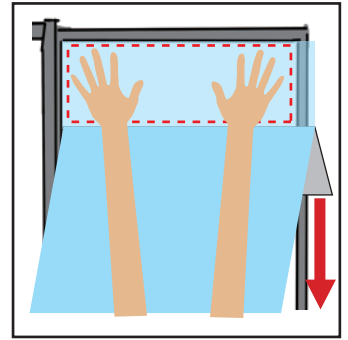
①タオルでガラス面をきれいにします。四隅は念入りに拭きます。タオルの繊維がガラス面に残らない様にします。



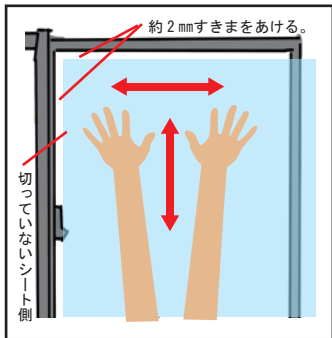
②シートを貼るガラスのサイズより5cm程度大きめにカットします。



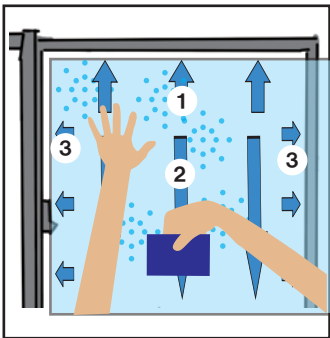
③ガラス面全体に水をスプレーします。シートの透明保護フィルムを約30cmはがしてシートに水をスプレーします。（水200ccに中性洗剤を数滴混ぜるとシートの位置決めをするときにシートが動きやすいです。）



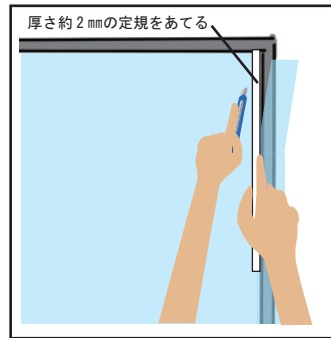
④透明保護フィルムをはがした部分をガラス面に貼り、その部分を抑えながら透明保護フィルムを下向きにはがします。



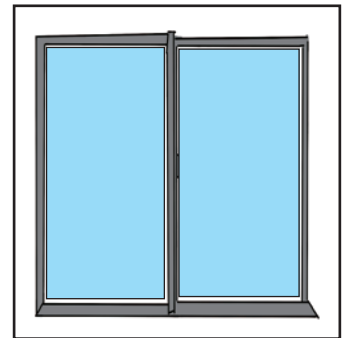
⑤シートを両手で上下左右に動かしながら②で切っていないシート側をあわせませす。ガラスのゴムから約2mmすきまをあけてシート位置を決めます。



⑥シート表面に水をスプレーしシートが動かない様に片手で抑えながらスキージーで空気と水を1、2、3の様に内側から外側に押し出します。押し出しにくい場合は、シートをめくりガラス面に水をスプレーします。



⑦厚さ約2mmの定規をサッシにあてカッターを定規に合わせて余分なシートを切ります。カッターはガラス面にキズを付けない様に、シートだけを切ります。



⑧気になるところはシート表面に水をスプレーして空気と水を抜きます。シートの端に押し出した水やシート表面、周囲についた水をタオルで拭き取ります。

## ZEROCOAT シート 使用上の注意事項

- 本製品を用途以外に使用しないでください。
- 軟質塩ビシートと透明保護フィルムの中に空気が入っている場合がありますが、性能には影響はありません。
- 本製品貼付後はガラスと全く同じ品質の視界が得られるわけではありません。
- 貼付後1～2週間でシートとガラスの間の水が抜けてシートがガラスに密着することで視界が改善されます。
- 貼付後は軟質塩ビシートの臭いがする場合がありますが、1～2週間で改善されます。必要に応じて換気をして下さい。
- 貼付け時は空気と水を十分に押し出して下さい押し出しが不十分な場合はシートが剥がれる原因になります。
- 本製品は温度変化や強く引っ張る事でシートが伸びてしまいますので、取扱に注意願います。
- 本製品は7年を目安に貼り換えて下さい。ただし、劣化の状況によって早めの交換をお勧めします。
- 本製品は高温多湿下で経時変化が促進されることがあります。通常の居住環境以上に高温多湿な場所で使用しないで下さい。
- 本製品表面を清掃する場合は濡れた柔らかい布で優しく拭いてください。
- 本製品貼付後に剥がれてきた場合は再度、水をスプレーして貼ることが出来ます。剥がれてきた面が汚れている場合は先に水で洗浄して下さい。
- 本製品は生産ロットにより多少色の差が生じる場合がありますが、性能に影響はありません。
- 本製品を廃棄する場合は、各自治体の指示に従ってください。
- 本製品の仕様は予告なく変更することがあります。
- 記載の数値は試験結果、計算結果であり、保証値ではありません。

材質：シート：軟質塩化ビニール / 透明保護フィルム：PETフィルム / 耐熱温度：60℃

総販売元

zero emission & energy conservation

**ゼロコン株式会社**

〒661-0961 兵庫県尼崎市戸ノ内町3丁目29-3

TEL: 06-6492-0659

FAX: 06-6537-1878

URL: <http://www.zerocon.co.jp/>

Mail: [info@zerocon.co.jp](mailto:info@zerocon.co.jp)